ご 挨 拶

第24回日本産婦人科・新生児血液学会学術集会の抄録号をお届けさせて頂きます。思えば、本学会の前身である日本産婦人科・新生児血液研究会は、1991年に現在の日本産婦人科・新生児血液学会に改称した訳ですが、この最後の研究会を開催したのは私の恩師であります山田兼雄先生でした。それから４半世紀を経て、本学会を横浜の地で開催させて頂きます事は、個人的には感傷的な面もございますが、聖マリアンナ医科大学小児科学教室および同窓会にとりまして誠に名誉なことでございます。

今回、本学術集会のテーマを「～血栓止血の原点に立ち返って～」とさせて頂きました。本領域は学問的にそして臨床的に極めて重要な分野ですが、現実は種々の学会において窓際の扱いをされていると感じるのは穿ち過ぎでしょうか。学内外の諸先生方の知恵をお借りして、また聖マリアンナ医科大学産婦人科学教授の鈴木直先生の多大なご協力を頂き、プログラムを作成させることが出来ました。関係各位に深謝申し上げる次第です。

特別講演は、早稲田大学理工学術院教授の池田康夫先生に「血栓止血学研究のすすめ」と題して、本領域の研究の素晴らしさを熱く語って頂きます。教育講演では、鈴木直先生に「将来を目指した新しい妊孕性温存療法」、北里大学救命救急医学講師の黒岩政之先生に「周術期及び周産期における静脈血栓塞栓症」を講演して頂きます。ランチョンセミナーでは、奈良県立医科大学小児科学教授の嶋緑倫先生に「妊娠・分娩期の後天性血友病Ａ」、山口大学大学院医学系研究科小児科学分野教授の大賀正一先生に「新生児の血栓症と血栓性素因」をお話しいただきます。

シンポジウムでは、「新生児 DIC の診断と治療―新しい指針の提案」、「産婦人科領域における血栓塞栓症 uptodate」を取り上げました。ワークショップでは、「産科的大量出血とその対策」、「新生児･乳児の貧血」、「先天性凝固異常症の周産期管理」、「新生児の白血球異常症」を企画しました。一般演題は34題の応募がありました。そのうち査読のある13演題を含め、全演題を採用させて頂きました。数多く応募をして頂き、誠に有難うございました。活発で有意義な討論が出来ますようお願い申し上げます。

会場のワークピア横浜は山下公園に近く、港、中華街、元町、港の見える丘公園など昔からの横浜らしいエキゾチックな雰囲気が漂っております。多数の皆様のご参加を心よりお待ちしております。

末尾ですが、皆様のご健勝と本学会の益々の発展を祈念いたします。

第24回日本産婦人科・新生児血液学会
学術集会長　瀧　　正 志

第24回日本産婦人科・新生児血液学会
ご 案 内

会期：平成26年 6 月13日（金）・14日（土）
会場：ワークピア横浜
〒231-0023　神奈川県横浜市中区山下町24-1
TEL：045-664-5252
学術集会長：瀧　正志
聖マリアンナ医科大学小児科教授
HP：http://www.jsognh.jp/scientific/

事 務 局
聖マリアンナ医科大学小児科学教室
〒216-8511　神奈川県川崎市宮前区菅生2-16-1
TEL：044-977-8111（内線3324）
FAX：044-976-8603
E-mail：jsognh.2014@marianna-u.ac.jp

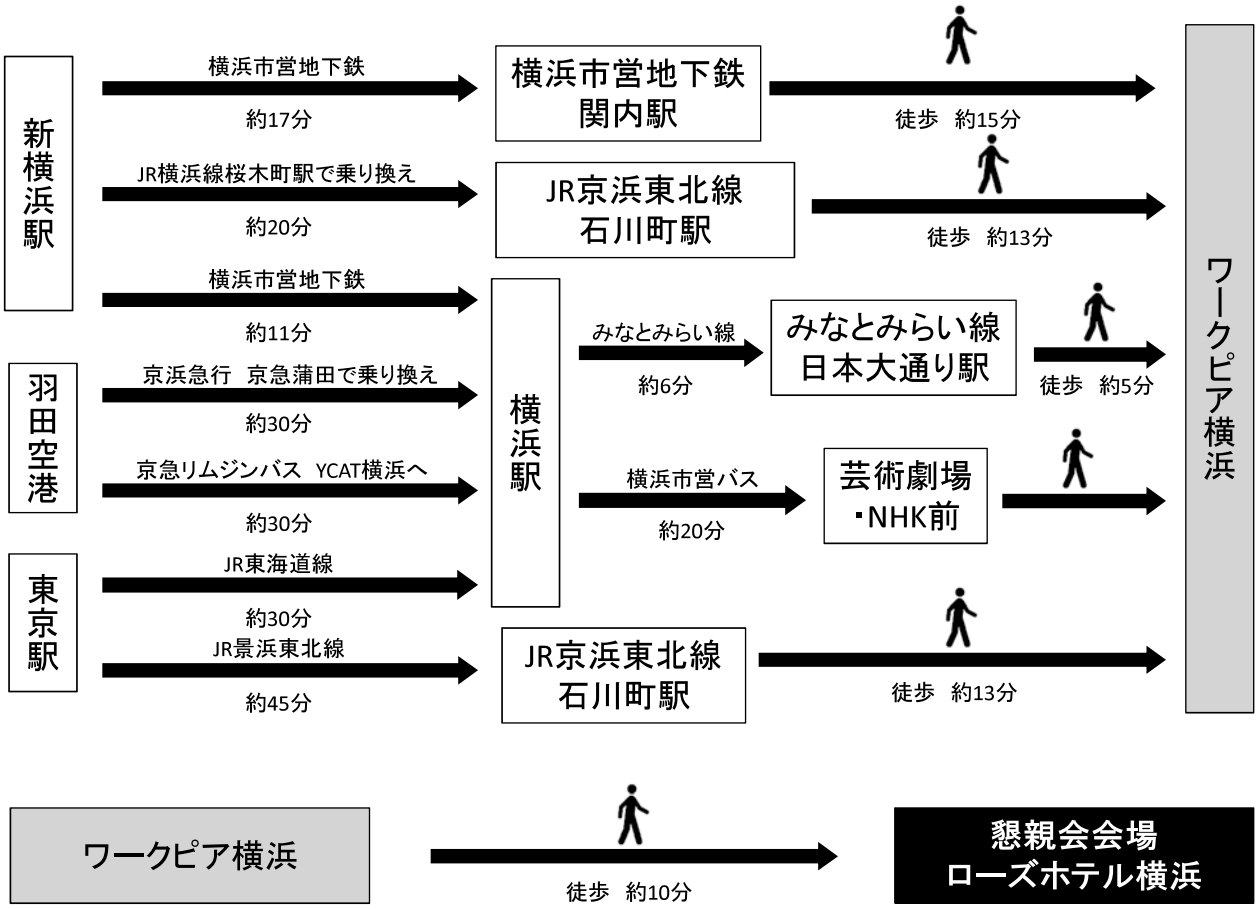
会場へのアクセス

■学会：ワークピア横浜　2F　第1会場「おしどり+くじゃく」/　3F　第2会場「かもめ+やまゆり」
〒231-0023
神奈川県横浜市中区山下町24-1　TEL045-664-5252
URL :http://www.workpia.or.jp/

■懇親会：ローズホテル横浜　2F　ザ・グランドローズボールルーム
〒231-0023
神奈川県横浜市中区山下町77　TEL 045-681-3311
URL : http://www.rosehotelyokohama.com

〈最寄りの交通機関からのアクセス〉

最寄駅
地下鉄みなとみらい線／日本大通り駅　3番出口　徒歩5分
JR京浜東北線／関内駅　関内駅南口から徒歩15分
JR京浜東北線／ 石川町駅　石川町駅北口から徒歩13分



会場のご案内

■会場周辺地図

〈学術集会場：ワークピア横浜〉〈懇親会場：ローズホテル横浜〉

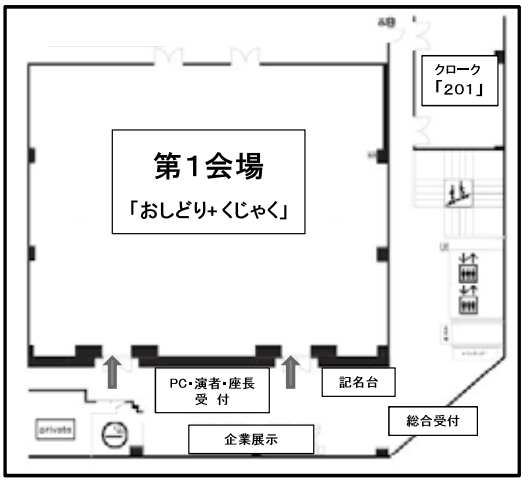
最寄駅

地下鉄みなとみらい線／日本大通り駅　3番出口　徒歩5分

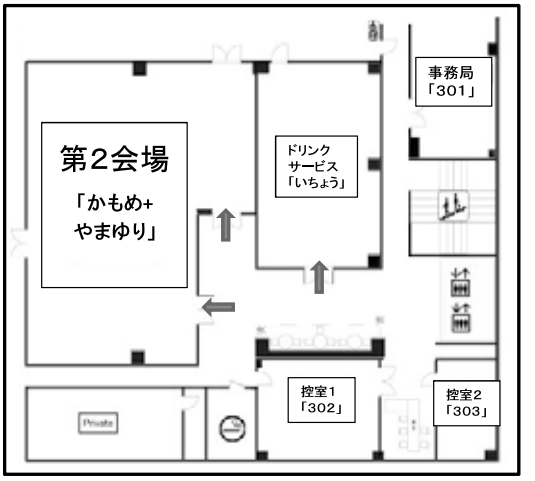
JR京浜東北線／関内駅　関内駅南口から徒歩15分

JR京浜東北線／ 石川町駅　石川町駅北口から徒歩13分

ワークピア横浜　2階



ワークピア横浜　3階



参加者の皆様へ

【参加受付】

受 付 日 時：６月13日（金）　８：20～17：30
　　６月14日（土）　８：30～15：00
受 付 場 所：ワークピア横浜２階　第１会場前　総合受付

【参加証】

所属・氏名をご記入の上、会場では必ずご着用下さい。

【抄録集】

学会員の方は、本号「学会抄録集」を忘れずにご持参下さい（会員の方で未着の場合は、当日学会デスクにお申し出下さい）。非学会員の方および学会員の方で抄録を複数冊必要な場合は、当日受付にて１冊2,500円で販売致します。

【学会単位】

本学会出席は、日本産科婦人科学会専門医（10単位）および日本小児科学会専門医資格更新のための基本単位（３単位）の対象になります。産婦人科の先生には専門医シール（10単位）が交付されますので、受付でお受け取り下さい。小児科の先生の３単位は名札に印刷されておりますので、ご利用下さい。

【懇親会】（詳細は懇親会案内をご覧ください）

日時：６月13日（金）　19：20～21：30
会場：ローズホテル横浜　２Ｆ　ザ・グランドローズボールルーム
ワークピア横浜よりローズホテル横浜まで、徒歩約10分です。ビタミンＫフォーラム終了後、送迎バスをご用意しております。
多数の皆様のお越しをお待ちしております。

【学会入会費】

年会費8,000円の納入、新規入会手続きについても当日学会デスクにて受け付けます。

【会場内でのお呼び出し】

各会場内でのアナウンス及びサイドスクリーンによるお呼び出しは行いません。

【ご注意】

①会場内での携帯電話はマナーモードに設定していただくか、電源をお切り下さい。
②講演・発表中の会場内での写真・ビデオ撮影は固くお断り致します。
③口演発表における質疑・討議は必ず座長の指示に従い、所属・氏名を告げてから、手短に発言して下さい。

発表要項

【座長の皆様へ】

教育講演・ワークショップ・一般演題など、ご担当のセッション開始15分前までにPC受付にて受付けをお済ませのうえ、会場内の次座長席へお越し下さい。

進行および時間管理は座長に一任致します。スケジュールが非常にタイトであるため、時間厳守の上、円滑な進行にご協力をお願い致します。

【演者の皆様へ】

教育講演・シンポジウム・ワークショップ・一般演題などそれぞれ講演時間と討論時間が異なります。事前にメールにてご連絡させていただいておりますが、各セッションをご参照いただき、ご不明の場合には事務局までお問い合わせください。

一般演題は、１演題につき発表６分間、質疑応答２分間です。

今回の学術集会では、ポスターセッションはございません。口演発表のみです。

※スライドの枚数に制限はございませんが、スケジュールが非常にタイトであるため、時間厳守でお願いいたします。

【注意事項】

１）学術集会当日は、発表の60分前までに、PC発表用の媒体をPC受付へご持参下さい。

２）スライドの注意事項

①発表データは、CD-R、USBメモリをご持参下さい。

Macintoshによる発表の場合は、ご自身のＰＣをお持ちいただき、ＰＣ受付をして下さい。必ず変換アダプターをご持参下さい。

講演時は、オペレーター卓に置いたMacintoshをご自身で、演台上のボタンかマウスで操作して頂きます。

②当日、ご用意するパソコンのOSはWindows 7、プレゼンテーションソフトはPower Point 2010です。

③スライド作成ソフトはWindows Power Point 2007以上のものをご使用下さい。

④フォントはOS標準のもののみご使用下さい。

⑤ファイル名は「セッション名　演者名.ppt」として下さい。

⑥画面の解像度は、XGA（1024×768）60Hzでお願い致します。

⑦CD-R（RW不可）への書き込みは、ISO9660方式をお使い下さい。

※パケット方式は会場PCで読み込めない恐れがあります。

３）ご自身のPCをお持込みの場合

①プロジェクターとの接続ケーブルの端子はミニDub- 15ピンです。

②PCによっては専用のコネクタが必要となりますので、必ずご持参下さい。

③バックアップ用として必ずメディア（USB、CD-Rなど）もご持参下さい。

（事前提出され、提出後修正されていない場合は不要です）

④コンセント用電源アダプターを必ずご持参下さい。

４）次演者の方は、会場内の次演者席での待機をお願い致します。

５）講演時は、ご自身で、講演台上のボタン（すすむ、もどる）かマウスを操作して頂きます。

ダブルスクリーンのため、ポインターはPC内のものを動かしてください。

６）発表終了１分前に黄色のシグナルが点灯し、既定発表終了時間にブザー音と赤色のシグナルが点灯します。

【事前提出のお願い】

本学術集会では、当日のトラブルを避けるため、**一般演題に関しては発表スライドの事前提出をお願い致します。**

教育講演、シンポジウム、ワークショップに関しては動画以外は事前提出の必要はありません。

事前にご提出いただいた動画が動作確認できなかった場合、学術集会事務局から６月11日（水）正午までにご連絡を差し上げ、保存形式を変更していただく場合がございます。ご了承願います。

発表スライドは、CD-R または USB メモリを郵送して頂くか、電子メール（ファイルサイズは20MBまで）による送付でお願いいたします。

提出先：郵送の場合

〒216-8511　神奈川県川崎市宮前区菅生2-16-1
聖マリアンナ医科大学小児科学教室
第24回日本産婦人科・新生児血液学会学術集会事務局
TEL：044-977-8111（内線3324）

電子メールの場合　jsognh.2014@marianna-u.ac.jp

提出期限：平成26年６月９日（月）必着

※郵送の場合：提出して頂いた CD-R または USB メモリは、学術集会終了後に破棄させて頂きます。CD-R または USB メモリ返却希望者は、返却希望と記載した用紙を同封して郵送して下さい。CD-R または USB メモリ返却は、学術集会開催中に PC 受付にて実施しておりますので、御足労ですが、PC 受付までお越しください。また、必ず6月9日 (月) までに着くように郵送して下さい。

【お問い合わせ先】

〒216-8511　神奈川県川崎市宮前区菅生2-16-1
聖マリアンナ医科大学小児科学教室
第24回日本産婦人科・新生児血液学会学術集会事務局
学術集会長　　瀧　正志
事 務 担 当　　長江千愛
TEL：044-977-8111（内線3324）　FAX：044-976-8603
E-mail：jsognh.2014@marianna-u.ac.jp

第24回日本産婦人科・新生児血液学会
タイムスケジュール

第１日目　平成 26 年６月 13 日（金）		
	ワークピア横浜　2F （おしどり＋くじゃく） 第１会場	ワークピア横浜　3F （かもめ＋やまゆり） 第２会場
8：20	受付開始	
8：40	開会の挨拶	
8：45 ～10：45 (120 分)	シンポジウム１ 「新生児 DIC の診断と治療 ー新しい指針の提案」 座長　白幡　聡 高橋幸博 演者　①川口千晴 ②高橋大二郎 ③長江千愛 ④大賀正一	
10：50 ～11：35 (45 分)	教育講演１ 「将来を目指した新しい 妊孕性温存療法」 座長　小林隆夫 演者　鈴木　直	
11：40 ～12：40 (60 分)	ランチョンセミナー１ 「妊娠・分娩期の後天性 血友病Ａ」 共催　ノボノルディスク ファーマ（株） 座長　杉浦真弓 演者　嶋　緑倫	
12：45 ～13：25	評議員会 (30 分) 総会 (10 分)	
13：30 ～14：30 (60 分)	特別講演 「血栓止血学研究の すすめ」 座長　瀧　正志 演者　池田康夫	
14：35 ～16：05 (90 分)	ワークショップ１ 「産科的大量出血と その対策」 座長　池田智明 竹田　省 演者　①牧野真太郎 ②田中博明 ③田村直顕	ワークショップ２ 「新生児・乳児の貧血」 座長　大戸　斉 伊藤悦朗 演者　①菅野　仁 ②伊藤悦朗 ③大戸　斉 ④細野茂春
16：10 ～17：25 (75 分)	一般演題１ 演題番号　１－９ 座長　金井　誠 渡辺　尚	一般演題２ 演題番号　10－18 座長　水上尚典 沢田　健
17：30 ～18：50 (80 分)	ビタミンＫフォーラム 共催　エーザイ（株） 座長　白幡　聡 西口富三 演者　①野口聡子 ②石黒　精	
19：20～	懇親会 ローズホテル横浜	

第２日目　平成 26 年６月 14 日（土）		
	ワークピア横浜　2F （おしどり＋くじゃく） 第１会場	ワークピア横浜　3F （かもめ＋やまゆり） 第２会場
8：30	受付開始	
9：00 ～11：00 (120 分)	シンポジウム２ 「産婦人科領域における 血栓塞栓症 up to date」 共催　バイエル薬品（株） 座長　安達知子 鈴木　直 演者　①安達知子 ②依藤崇志 ③吉岡範人 ④岡野浩哉 ⑤二井章太	
11：05 ～12：10 (65 分)	一般演題３ 演題番号　19－26 座長　前田　眞 森川　守	一般演題４ 演題番号 27－34 座長　白川嘉継 西久保敏也
12：15 ～13：15 (60 分)	ランチョンセミナー２ 「新生児の血栓症と 血栓性素因」 共催　(一財)化学及血清療 法研究所 座長　原　寿郎 演者　大賀正一	
13：20 ～14：05 (45 分)	教育講演２ 「周術期および周産期に おける静脈血栓塞栓症」 共催　科研製薬（株） 座長　板倉敦夫 演者　黒岩政之	
14：10 ～15：40 (90 分)	ワークショップ３ 「先天性凝固異常症の 周産期管理」 共催　バクスター（株） 座長　金山尚裕 吉松　淳 演者　①小田 智昭 ②朝比奈俊彦 ③野上恵嗣 ④根木玲子 ⑤藤田太輔 ⑥伊熊ことみ	ワークショップ４ 「新生児の白血球異常症」 共催　中外製薬（株） 座長　杉田完爾 小林正夫 演者　①嶋田　明 ②照井君典 ③岡田　賢 ④慶野　大
15：45	閉会の挨拶	

（表中敬称略）

■特別講演　［平成26年６月13日（金）13：30～14：30］

「血栓止血学研究のすすめ」　S１

座長：聖マリアンナ医科大学小児科　教授　瀧　正志　先生

演者：早稲田大学理工学術院　教授　池田　康夫　先生

■教育講演

教育講演１　［平成26年６月13日（金）10：50～11：35］　S３－４

「将来を目指した新しい妊孕性温存療法」

座長：浜松医療センター　病院長　小林　隆夫　先生

演者：聖マリアンナ医科大学産婦人科学　教　授　鈴木　直　先生

教育講演２　［平成26年６月14日（土）13：20～14：05］　S５

「周術期および周産期における静脈血栓塞栓症」

座長：順天堂大学産婦人科　教授　板倉　敦夫　先生

演者：北里大学医学部麻酔科学　講師　黒岩　政之　先生

共催：科研製薬（株）

■シンポジウム

シンポジウム１　［平成26年６月13日（金）　8：45～10：45］

「新生児 DIC の診断と治療－新しい指針の提案」

座長：産業医科大学　名誉教授　白幡　聡　先生

奈良県立医科大学付属病院総合周産期母子医療センター　教　授　高橋　幸博　先生

１．新生児 DIC の診断基準（案）　S７－８

演者：東大寺福祉療育病院小児科　川口　千晴　先生

２．アンチトロンビン製剤の再評価　S９－10

演者：福田病院小児科　高橋大二郎　先生

３．新生児ＤＩＣに対する遺伝子組換えトロンボモジュリン製剤の使用指針
S11－12

演者：聖マリアンナ医科大学小児科　長江　千愛　先生

４．補充療法の適応　S13－14

演者：山口大学大学院医学系研究科小児科　大賀　正一　先生

シンポジウム2　［平成26年６月14日（土）　9：00～11：00］

「産婦人科領域における血栓塞栓症 up to date」

座長：総合母子保健センター愛育病院　副院長・産婦人科部長　安達　知子　先生

聖マリアンナ医科大学産婦人科学　教授　鈴木　直　先生

共催：バイエル薬品（株）

１．産婦人科領域における血栓塞栓症 up to date　－ overview －　S15－16

演者：総合母子保健センター愛育病院　産婦人科　安達　知子　先生

２．妊娠・分娩・産褥期の血栓塞栓症予防法の課題　S17－18

演者：順天堂大学産婦人科　依藤　崇志　先生

３．婦人科領域における静脈血栓塞栓症の危険因子
－新たな抗凝固療法の使用経験から－　S19－20

演者：聖マリアンナ医科大学産婦人科　吉岡　範人　先生

４．ホルモン療法と血栓症（1）　OC/LEP 製剤と血栓症　S21－22

演者：飯田橋レディースクリニック　岡野　浩哉　先生

５．ホルモン療法と血栓症（2）　HRT が静脈血栓・塞栓症リスクに与える影響　－エストロゲンの種類、投与経路の差異に注目して－　S23－24

演者：愛知医科大学産婦人科　二井　章太　先生

■ワークショップ

ワークショップ1　［平成26年６月13日（金）14：35～16：05］

「産科的大量出血とその対策」

座長：三重大学医学部産科婦人科学　教授　池田　智明　先生

順天堂大学産婦人科　教授　竹田　省　先生

１．産科大量出血に対するフィブリノゲン濃縮製剤の使用実態調査　S25－26

演者：順天堂大学産婦人科　牧野真太郎　先生

２．産科出血における生存例と死亡例の検討　S27－28

演者：国立循環器病研究センター周産期・婦人科　田中　博明　先生

３．羊水塞栓症におけるC1インヒビター活性の検討　S29－30

演者：浜松医科大学産婦人科　田村　直顕　先生

ワークショップ2　［平成26年６月13日（金）14：35～16：05］

「新生児・乳児の貧血」

座長：福島県立医科大学附属病院輸血・移植免疫部　大戸　斉　先生

弘前大学大学院医学研究科小児科　伊藤　悦朗　先生

１．新生児・乳児期に発症する先天性溶血性貧血の病因と診断　S31－32

演者：東京女子医科大学輸血・細胞プロセシング科　菅野　仁　先生

２．Diamond-Blackfan 貧血の病態と診断　S33－34

演者：弘前大学大学院医学研究科小児科　伊藤　悦朗　先生

３．母児間不適合妊娠：とくに抗Ｍの再評価　S35－36

演者：福島県立医科大学附属病院輸血・移植免疫部　大戸　斉　先生

４．胎盤血輸血と新生児・乳児の貧血予防　S37－38

演者：日本大学医学部小児科学系小児科学分野　細野　茂春　先生

ワークショップ３［平成26年６月14日（土）14：10～15：40］
「先天性凝固異常症の周産期管理」

座長：浜松医科大学産婦人科　教授　金山　尚裕　先生
国立循環器病研究センター周産期・婦人科　部長　吉松　　淳　先生
共催：バクスター（株）

１．先天性無フィブリノゲン血症　S39－40
演者：富士市立中央病院産婦人科　小田　智昭　先生

２．先天性第XII因子、第XIII因子等欠乏症の妊娠、および周産期管理　S41－42
演者：浜松医科大学産婦人科　朝比奈俊彦　先生

３．血友病・von Willebrand 病の周産期管理　S43－44
演者：奈良県立医科大学小児科　野上　恵嗣　先生

４．先天性プロテインＣ欠乏症、先天性アンチトロンビン欠乏症　S45－46
演者：国立循環器病研究センター周産期婦人科　根木　玲子　先生

５．プロテインＳ欠乏症と妊娠について　S47－48
演者：大阪医科大学産婦人科　藤田　太輔　先生

６．先天性 PAI-1欠損症の妊娠・分娩管理　S49－50
演者：浜松医科大学産婦人科　伊熊ことみ　先生

ワークショップ4［平成26年６月14日（土）14：10～15：40］
「新生児の白血球異常症」

座長：山梨大学医学部小児科　教授　杉田　完爾　先生
広島大学大学院医歯薬保健学研究院　小児科学　教授　小林　正夫　先生
共催：中外製薬（株）

１．新生児白血病（先天性白血病）　S51－52
演者：岡山大学病院小児科　嶋田　　明　先生

２．ダウン症候群に伴う TAM 発症の分子機構　S53－54

演者：弘前大学大学院医学研究科小児科　照井　君典　先生

３．新生児期の好中球減少症　S55－56

演者：広島大学病院小児科　岡田　　賢　先生

４．新生児期における血球貪食性リンパ組織球症　S57－58

演者：聖マリアンナ医科大学小児科　慶野　　大　先生

■ランチョンセミナー

ランチョンセミナー１［平成26年６月13日（金）11：40～12：40］

「妊娠・分娩期の後天性血友病 A」

座長：名古屋市立大学院医科学研究科産科婦人科　教授　杉浦　真弓　先生

演者：奈良県立医科大学小児科　教授　嶋　　緑倫　先生

共催：ノボノルディスクファーマ（株）

ランチョンセミナー２　［平成26年６月14日（土）12：15～13：15］

「新生児の血栓症と血栓性素因」

座長：九州大学大学院医学研究院　成長発達医学分野（小児科）　教授　原　　寿郎　先生

演者：山口大学大学院医学系研究科小児科　教授　大賀　正一　先生

共催：一般財団法人　化学及血清療法研究所

■ビタミン K フォーラム　［平成26年６月13日（金）17：30～18：50］

座長：産業医科大学　名誉教授　白幡　　聡　先生

静岡県立こども病院　周産期センター長　西口　富三　先生

共催：エーザイ（株）

1. 改訂ガイドライン（修正版）発表後の北海道におけるビタミン K 製剤投与状況

演者：北海道立子ども総合医療・療育センター　新生児内科　野口　聡子　先生

2. ビタミン K 欠乏による乳児頭蓋内出血－成育医療センターでの経験

演者：独立行政法人　国立成育医療研究センター　教育研修部　石黒　　精　先生

学術集会賛助リスト

本学術集会には、以下の企業からご援助頂きました。
ここに記して、厚く御礼申し上げます（平成26年５月15日現在）。

〈共　催〉

エーザイ株式会社
一般財団法人 化学及血清療法研究所
科研製薬株式会社
中外製薬株式会社
ノボノルディスクファーマ株式会社
バイエル薬品株式会社
バクスター株式会社

〈協　賛〉

プラチナサポーター

旭化成ファーマ株式会社
協和発酵キリン株式会社
CSL ベーリング株式会社
一般社団法人日本血液製剤機構
バイオジェン・アイデック・ジャパン株式会社

ゴールドサポーター

グラクソ・スミスクライン株式会社
帝人ファーマ株式会社

シルバーサポーター

アレクシオンファーマ合同会社
MSD 株式会社
JCR ファーマ株式会社
テバ製薬株式会社

ブロンズサポーター

株式会社イワサワ
株式会社ツムラ
株式会社宮川商店
塩野義製薬株式会社
日東メディック株式会社
株式会社 LSI メディエンス
大正富山医薬品株式会社
ファイザー株式会社

〈展　示〉

科研製薬株式会社
ドレーゲル・メディカルジャパン株式会社
日本ストライカー株式会社
ノボノルディスクファーマ株式会社

〈書　籍〉

ゼネラルヘルスケア株式会社

■一般演題

平成26年６月13日㈮　16：10～17：25　第１会場ワークピア横浜　2F　第２会場ワークピア横浜　3F　：演題番号１-18

平成26年６月14日㈯　11：05～12：10　第１会場ワークピア横浜　2F　第２会場ワークピア横浜　3F　：演題番号19-34

座長	演題番号	査読	演者	所属	ページ
		演題名			
一般演題１（血栓症関連）：第１会場					
金井　誠 信州大学医学部保健学科 渡辺　尚 芳賀赤十字病院産婦人科	1		渡辺　尚	芳賀赤十字病院　産婦人科	S59-60
		当科における開腹術後の静脈血栓塞栓症予防			
	2	○	波多野美穂	聖マリアンナ医科大学　産婦人科	2-3
		産科領域における深部静脈血栓症の治療に対する抗凝固療法の使用経験			
	3	○	兵藤　博信	東京都立墨東病院　産婦人科	4-5
		妊娠中に発症する脳静脈洞血栓症			
	4		三好　剛一	国立循環器病研究センター　周産期・婦人科	S61-62
		深部静脈血栓症合併妊娠における分娩時の一時下大静脈フィルターの再評価			
	5	○	大岡　尚実	信州大学医学部　産婦人科	6-7
		ヘパリンアレルギーのためフォンダパリヌクスで妊娠管理した静脈血栓症既往妊娠の一例			
	6	○	春田　祥治	奈良県立医科大学　産科婦人科	8-9
		卵巣腫瘍手術退院後に静脈血栓塞栓症を発症した一例			
	7		市山　卓彦	順天堂大学　産婦人科	S63-64
		分娩前後に血栓性血小板性紫斑病を発症し異なる症状を呈した１例			
	8		島　友子	富山大学　産科婦人科	S65-66
		多発脳梗塞を契機に診断された腹膜原発漿液性腺癌によると考えられる Trousseau 症候群の一例			
	9		北折　珠央	名古屋市立大学大学院医学研究科 産科婦人科	S67-68
		産科抗リン脂質抗体測定標準化に関する検討			
一般演題２（貧血関連）：第２会場					
水上尚典 北海道大学大学院医学研究科産科・生殖医学分野 沢田　健 東邦大学医療センター佐倉病院小児科	10		與田　緑	日本大学医学部　小児科学系小児科学分野	S69-70
		母体輸血後に抗 E、抗 c 抗体を産生し、Rh 不適合による溶血性黄疸を発症した１例			
	11		鈴木　琢真	日本大学医学部　小児科学系小児科学分野	S71-72
		遷延性汎血球減少を認めた先天性風疹症候群の超低出生体重児の１例			
	12	○	柏原　祥曜	湯浅報恩会 寿泉堂綜合病院　小児科	10-11
		皮疹、肝脾腫及び早発黄疸を契機に家族性血球貪食症候群と診断した１新生児例			
	13	○	鈴木　真波	聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 周産期センター	12-13
		当院における超低出生体重児に対する濃厚赤血球輸血使用の現状			
	14		髙橋大二郎	福田病院　新生児科	S73-74
		カリウム吸着除去用血液フィルター使用時の赤血球濃厚液の性状変化			
	15		千葉　仁美	弘前大学医学部　産科婦人科	S75-76
		前回28週での抗 D 免疫グロブリン投与にも関わらず感作され、今回抗体価が8192倍に及ぶも MCA-PSV 測定により健児を得られた一症例			
	16		白橋　淨彦	宗像水光会総合病院　産婦人科	S77-78
		β サラセミア合併日本人妊婦の一例			
	17	○	川口　龍二	奈良県立医科大学　産科婦人科	14-15
		産科領域における貯血式自己血輸血の現状とその問題点			
	18		森川　守	北海道大学大学院医学研究科　産科・生殖医学分野	S79-80
		周産期における「回収式自己血輸血に関する後方視的検討」（全国アンケート調査）			

＊敬称略、査読ありの論文は演者前に○を記載　＊施設名簡略化

座長	演題番号	査　読	演　者	所　属	ページ
		演　題　名			
一般演題 3 （産科的疾患）：第 1 会場					
前田　眞 三重中央医療センター総合周産期母子医療センター 森川　守 北海道大学大学院医学研究科産科・生殖医学分野	19		森川　守	北海道大学大学院医学研究科　産科・生殖医学分野	S81-82
		子宮温存困難な癒着胎盤における子宮摘出術は1期的と2期的のどちらが適当か？			
	20		柳井　咲花	大阪市立大学大学院医学研究科女性生涯医学	S83-84
		子宮動脈塞栓術における有効性予測因子の検討			
	21	○	西嶌　優子	総合母子保健センター愛育病院　産婦人科	16-17
		当院における子宮内反症の後方視的検討			
	22		仲神　宏子	埼玉医科大学医学部　産科婦人科	S85-86
		子宮筋層中の血管に胎児・羊水成分は羊水塞栓症に特異的であるか？			
	23		鳥谷部邦明	三重大学医学部附属病院　産婦人科	S87-88
		三重県の妊婦1,820人の妊娠初期サイトメガロウイルス IgG、IgM スクリーニング結果について			
	24	○	宮﨑　恭子	長崎大学病院　産婦人科	18-19
		切迫早産治療中に無顆粒球症を発症した 1 例			
	25		髙木亜由美	千葉市立青葉病院　産婦人科	S89-90
		TIA をきたした第 XII 因子低下症妊婦の一例			
	26		瀬戸さち恵	埼玉医科大学病院　産科婦人科	S91-92
		当院で作成した、産科 DIC に対する輸血プロトコールの有効性 ー PT% と血漿フィブリノゲン値に基づいた乾燥ヒトフィブリノゲンおよび FFP 投与法ー			
一般演題 4 （止血血栓関連）：第 2 会場					
白川嘉継 福岡新水巻病院小児科 西久保敏也 奈良県立医科大学附属病院総合周産期母子医療センター	27		市山　正子	九州大学大学院医学研究院成長発達医学	S93-94
		胎児水頭症から診断された先天性プロテイン C ヘテロ接合体欠損症の新生児例			
	28		中川　隆志	奈良県立医科大学附属病院　新生児集中治療部	S95-96
		ThromboPath での新生児・小児の PC/PS 凝固抑制系の特性			
	29		島　庸介	信州大学医学部　小児科	S97-98
		敗血症性 DIC に対しトロンボモジュリンα製剤を使用した超低出生体重児の 1 例			
	30		松岡　若利	九州大学病院　小児科	S99-100
		発作性上室性頻拍による心原性ショックの後に発見された新生児脳静脈洞血栓症の 1 例			
	31	○	伊東　祐順	聖マリアンナ医科大学　小児科	20-21
		新生児同種性血小板減少症の一例			
	32	○	増山　郁	福島県立医科大学　小児科	22-23
		胎児水腫を伴った重症一過性骨髄異常増殖症の Down 症候群例			
	33	○	竹内　淳	聖マリアンナ医科大学　産婦人科	24-25
		von Willebrand 病を合併した妊婦の 1 例			
	34	○	鶴賀　香弥	社会福祉法人恩賜財団 母子愛育病院総合母子保健センター 産婦人科	26-27
		第一子分娩後に先天性ヘテロ第Ⅶ因子欠乏症が判明した反復帝王切開の一症例			